

## 社会福祉法人 福井保育協会 中長期計画

### 1 施設の現状（令和3年4月1日時点）

利用定員	150人	認可定員	173人	現員	172人
令和3年度入園園児数（4月1日入所）			34人		
入園する子どもの概況	<p>（年齢別入園児童数、入園児の状況・家庭背景等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年は毎年33～36名程度の入園児を受け入れている</li> <li>・ 年齢によっては予定数以上の入園申し込みがあるが、入園希望者数は減少傾向にある</li> <li>・ 0歳児の入所申し込みが年々減少している</li> <li>・ 入園児のひとり親家庭の割合は1～2割程度である</li> </ul>				
職員数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 33名（内訳 園長1名、保育士19名、栄養士4名、役務員その他パート職員9名）</li> </ul>				
人材育成の状況	<p>（施設内外の研修などの職員育成に向けた取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園外研修には県内外問わず、基本的に全職員が年平均で3回程の参加をしている</li> <li>・ 園内研修も公開保育研修、事例研修、講師を招いての研修等を年に5～6回程度おこなっている</li> </ul>				
人材確保の状況	<p>（職員の採用状況や退職者数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採用は毎年2～3人程度である</li> <li>・ 退職者も毎年2～3人程度である</li> <li>・ 年によっては予定採用数に足りない時もあり、求人票を再度出すケースもある</li> </ul>				
施設の概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和47年 設立</li> <li>・ 平成12年 改築</li> <li>・ 令和2年 大規模修繕</li> </ul>				

## 2 施設目標

### ○ 法人目標

社会福祉法人福井保育協会が社会福祉事業の主たる担い手として、ふさわしい事業を確実、効果的かつ適正におこなうため、経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進の努めることを目標とする。

### ○ 保育理念

◇ 子どもの最善の利益を考え、子どもの心を大切にし、常に子どもの視点に立って保育をおこなう

### ○ 保育目標

- ◇ 心身ともに健康で元気な子ども
- ◇ 友だちとなかよく遊ぶ子ども
- ◇ 自分で考えて行動する子ども
- ◇ 物事に対して心を動かす子ども
- ◇ 約束を守り楽しく生活のできる子ども
- ◇ 自然となかよくできる子ども

### ○ 施設の目指す姿（令和7年度末）

施設の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長の上でも大切な時期である、0～5歳児を保育園で受け入れ、保護者とともに成長を見守り、最終的には就学へと繋げていく役割を担っていかなければならない。また保護者支援も子育ての悩みなどを一緒になって考えていくことも必要である</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の研修を継続的にこなっていく</li> <li>・人事評価を一人一人のスキルアップにつなげていくために、人事評価シートを修正する</li> </ul>
クラス編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は8クラス編成（0歳児クラス、1歳児クラス、2歳児クラス、3歳児クラス（2クラス）、4歳児クラス、5歳児クラス）</li> <li>・0歳児クラスの人数編成や0歳児の保育室である寒坊の里の利用の仕方もふまえて、入園月齢の変更を検討していく</li> </ul>
地域の子育て支援等の地域における公益的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放の回数や曜日等を利用者からのニーズによって見直す世にする</li> <li>・子育て支援を利用される方のニーズを踏まえた支援をおこなっていく（令和元年度に開催した離乳食教室などを今後もニーズを散り入れながら開催するようにする）</li> </ul>

### 3 課題

<p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在行われている園内研修をより体系化していく必要がある</li> <li>・職員がスーパーバイズを受けられる体制作りが必要である</li> <li>・職員のスキルアップを図る上でも、職員会等での事例についての話し合い等がもう少しおこなわれるべきである</li> </ul>
<p>人材確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保がなかなか厳しい状況なので、臨時職員での採用は求人側からするとマイナス部分になっているように思われる</li> <li>・実習生受け入れと人材確保が結びつくような取り組みが必要である</li> </ul>
<p>クラス編成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児の入園人数の状況にもよるが、0歳児クラスの寒坊の里は園舎からは離れてしまうが、環境等は面積等も含め保育室としては恵まれているところであると思うので、保護者の方へのアピールも含めて、より効果的な活用が求められるところであると思われ、そのために入園月齢の検討が必要である</li> </ul>
<p>施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年の大規模修繕で空調設備も整い、LED照明の導入もおこなったが、室内外の備品で平成12年の改築以降から取り替えられていない備品は購入が必要である</li> <li>・園庭の環境を子どもたちの遊びやすいものとするために、遊具等の再編成を考える必要がある</li> </ul>
<p>地域における 公益的取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルス流行状況下で地域の子育て支援に関しての情報発信が積極的におこないきいところではあるが、インターネット等を利用して認知度を上げていくことが必要である</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在園児の保護者や今後入園を考えられている保護者の方への情報提供をおこなうために、第三者評価の受審、結果の公表への取り組みが必要である</li> </ul>

#### 4 今後5年間の取り組み

<p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修を継続しておこない、事例研修等の充実化をはかる</li> <li>・主任保育士がスーパーバイザーの役割を担えるような体制作り</li> <li>・職員のスキルアップに向けて、県外の研修にも職員を積極的に参加させる</li> <li>・人事考課制度が職員の質向上へつなげていくためにも、人事評価シートの見直しをおこなっていく</li> </ul>
<p>人材確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フルタイム勤務職員に対しての臨時職員制度の廃止</li> <li>・実習生受け入れが人材確保につながるように、実習生受け入れマニュアルを指導方法の具体化等も含めた見直し</li> </ul>
<p>クラス構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園月齢の変更を検討することにより、0歳児クラスを効果的に活用できるようにしていく</li> <li>・福井保育園への待機児童がいる状況から、認可定員の範囲内で年度途中入所も積極的におこなうようにする</li> </ul>
<p>施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内外の古い備品等をリストにして、計画的に新しい物を購入していき、環境を整えていく</li> <li>・土山も含めた園庭環境を再構成し、必要であれば整備等もおこなうようにする</li> </ul>
<p>地域における 公益的取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援さくらの広場を利用される方からの子育てに関する悩みや相談からニーズを読み取っていき、そこから支援に結びつく具体的な取り組み等を以前おこなった離乳食教室なども含めて取り組んでいくようにする</li> <li>・子育て支援さくらの広場への認知度をあげる上でも、FaceBook等で情報発信をおこない、地域の子育て支援につなげていくようにする</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価を受審し、結果をもとにして法人運営の改善や保育の質向上への取り組みにつなげていくようにする</li> </ul>